　＜　CT検査の説明書　＞

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（NTT東日本伊豆病院　2020年10月制定）

◎CT検査の必要性

今回疑われる病気などの原因を検索するにはCT検査が有用です。

◎今回のCT検査による被ばくで受ける影響

CT検査による被ばくとがん発生のリスクとの関係については、科学的に明らかにされていません。しかし、被ばくによりがん発生のリスクが増加すると仮定しても、その増加分は他の原因（喫煙、食事、ウィルスや環境汚染物質など）によるがん発生リスクと比べて非常に小さいと考えられています。

◎被ばく線量低減の取り組み

当院では、定期的にCT装置の点検を行い、診療放射線技師が無駄な被ばくをしないよう可能な限り低い被ばく線量で検査ができるように管理をしています。

※CT検査の診断参考レベル：DRL（各医療施設が目標とする被ばく線量指標）（単位：ｍGy）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 撮影部位 | 線量指標（DRL） | 当院の被ばく線量 |
| 頭部 | 77 | 69 |
| 胸部 | 13 | 7 |
| 胸部～骨盤腔 | 18 | 9 |
| 上腹部～骨盤腔 | 16 | 7 |

（参考文献：日本被ばく研究情報ネットワーク、日本医学放射線学会、日本放射線技師会）

病院名

患者名　　　　　　　　　　　　　　　　　　様に、

CT検査を受けるにあたり、上記について説明し、同意を得ました。

確認者　氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　患者体重　　　　　　　　Kg